

平成21年度自動車アセスメント前期評価結果



乗用車A ホンダ インサイト(SCA付)※2

■発売:2009年2月~



■試験車:インサイト G
■排気量:1,339cc
(2009年度実施)

サイドカーテンエアバッグ	<input checked="" type="checkbox"/>
横すべり防止装置	<input checked="" type="checkbox"/>
衝突被害軽減ブレーキ	-

衝突安全性能総合評価

運転席 ★★★★★★★★ 6+
助手席 ★★★★★★★★ 5+

歩行者頭部保護性能評価



ブレーキ性能(停止距離)

乾いた路面 41.8m
濡れた路面 46.0m

平成21年度新規評価項目

前面衝突後席乗員保護性能評価

後席

後面衝突頸部保護性能評価

運転席
助手席

後席シートベルト使用性評価



座席ベルトの非着用時警報装置の有無

助手席 - 後席 -

乗用車C 日産 ティアナ

■発売:2009年8月~

※3



■試験車:ティアナ 250XL
■排気量:2,495cc
(2009年度実施)

サイドカーテンエアバッグ	<input checked="" type="checkbox"/>
横すべり防止装置	<input checked="" type="checkbox"/>
衝突被害軽減ブレーキ	-

衝突安全性能総合評価

運転席 ★★★★★★★★ 6+
助手席 ★★★★★★★★ 6+

歩行者頭部保護性能評価



ブレーキ性能(停止距離)

乾いた路面 42.2m (注)
濡れた路面 47.8m (注)

平成21年度新規評価項目

側面衝突試験のみ委託試験のため、
平成21年度新規導入項目については未実施

※1 1Boxの3列目の評価は、NASVAホームページをご覧ください。(http://www.nasva.go.jp/mamoru/index.html)

※2 自動車製作者の申し出による委託試験車種であり、側面衝突試験のみを実施し、その他□の部分は2009年度の結果を流用しています。

※3 自動車製作者の申し出による委託試験車種であり、側面衝突試験のみを実施し、その他□の部分は2008年度の結果を流用しています。

(注)…天候の影響でブレーキ試験時に規定の路面温度条件を下回っていたため、停止距離が若干短めに出ている可能性があります。

評価結果の見方

試験車の種類

- 軽自動車 → 軽自動車
- 乗用車A → 排気量1,500cc以下(1Box&ミニバン除く)
- 乗用車B → 排気量1,500cc超~2,000cc以下(1Box&ミニバン除く)
- 乗用車C → 排気量2,000cc超(1Box&ミニバン除く)
- 1Box → 1Box&ミニバン(座席が3列以上あるもの)
- 商用車 → 商用車

★の数が多いほど乗員への傷害は軽くなります。数字の右肩に表示している「+」は、試験法に定める基準に適合したサイドカーテンエアバッグが装備されていることを表しています。

レベルの数値が大きいほど歩行者の頭部保護性能が高いことを表しています。

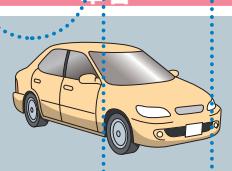
時速100kmからブレーキペダルを素早く踏んで停止するまでの距離をグラフで表しています。

1Box

*メーカー名
車名

■発売:2009年4月~

※10



■試験車:ナスバ G
■排気量:2,359cc
(2009年度実施)

サイドカーテンエアバッグ	<input checked="" type="checkbox"/>
横すべり防止装置	<input checked="" type="checkbox"/>
衝突被害軽減ブレーキ	-

衝突安全性能総合評価

運転席 ★★★★★★★★ 6+
助手席 ★★★★★★★★ 5+

歩行者頭部保護性能評価



ブレーキ性能(停止距離)

乾いた路面 41.8m (注)
濡れた路面 46.4m (注)

平成21年度新規評価項目

前面衝突後席乗員保護性能評価

後席

後面衝突頸部保護性能評価

運転席
助手席

後席シートベルト使用性評価



座席ベルトの非着用時警報装置の有無

助手席 - 後席 -

レベルの数値が大きいほど前面衝突後席乗員保護性能が高いことを表しています。

後席中央座席に3点式シートベルトが装備されていることを表しています。

装備有り→「○」 装備無し→「-」

後席中央座席がない場合はこの表示はありません。

シートベルトのアクセ性、バックルの識別性、バックルのタングへの挿入性及びシートベルト着装時の快適性について、3段階で表しています。

赤線はシートポジションが標準位置、青線はシートポジションを前方に移動した位置における評価を表しています。

オレンジ色、黄色、薄緑色、緑色の4段階で表示し、緑色が最も後面衝突頸部保護性能が高いことを表しています。